主要施策	町民と共につくる親しみやすいまちを支える交流活動
施策の柱	３　国際・国内交流活動の推進
施策の分類	国内外交流

■　現状と課題

〇国際交流

町では、１９７７年に米国オレゴン州フッドリバー市と姉妹都市を締結し、以来高校生による留学生派遣事業、中学生大使派遣事業、国際交流員の招致事業等を展開し、「外国青年による津軽弁大会」、「アースデイ鶴田」などのイベントや学校や保育所などでの英会話教室など、これまで両市町による相互交流者は１，５０２名に上っています。

〇国内交流

国内では、鹿児島県さつま町と友好交流協定を結び、教育・文化などの交流が行われてきました。伝統芸能である「五ツ太鼓」をはじめとする文化交流や人的交流が行われており、町民の有志による「太鼓の会」が組織され活動をしています。

また、神奈川県川崎市においては、地元自治会やつがるにしきた農協の協力により、京町小学校での学校田体験学習やかわさき市民祭りでの農産物の販売を通して都市との交流をしてきました。

しかし、行政主導による交流が中心のため、町民自らが交流活動を進め、行政・町民ともに活動範囲を広げていく必要があります。

■　目指す姿（基本方針）

〇　幼児期から生きた英語にふれあい、国際社会の一員としての意識を持つ人材を育成するなど国際交流のまちを目指します。

〇　「朝ごはん運動」を中心に食育や文化継承を推進するまちを目指します。

〇　これまでの文化交流・人的交流の範囲を拡大するとともに、経済交流を積極的に推進するまちを目指します。

■　施策の内容

〇　住民の自主的な国際交流や外国の人々との相互理解を深めるための国際感覚を育成するための活動を支援します。

〇　「朝ごはん条例」制定の町として、フッドリバー市や鹿児島県さつま町、神奈川県川崎市を中心に食育や文化継承に対する相互理解を深めていきます。

〇　相互の道の駅等を活用した物産展等を通じた経済交流を推進します。

担当：総務課・教育委員会